

【相談内容】

No82.沿岸部の鋼橋塗装塗替について

- 「鋼橋、塗装塗替の優先順位」を明確にするための沿岸部の取扱いについて、
 - ①塩害影響地域（道路橋示方書ⅣのP180）⇒海岸線から200m以上
 - ②耐候性鋼材適用可能範囲⇒海岸線から2km以上
 - ③飛来塩分量少（鋼道路橋防食便覧P1-13）⇒海岸線より500m以上
- 上記①～③のどちらで検討すべきか判断に苦慮しているため助言を頂きたい。

【助言内容】

- 「海岸線からの距離」を踏まえて、塗装塗替の優先順位を検討中とのことであるが、質問の①～③のいずれかを塗装塗替優先度の閾値とすることの妥当性に関する明確な知見はない。
- なお、鋼材の腐食は、海洋からの飛来塩分のほか、路面凍結防止剤散布や風雨等による水の供給等が要因として考えられるため、優先度の検討に際しては、その様な点も考慮する事が望ましいと考える。